

男女共同参画通信 「ちょこっと」

当県士会で、男女共同参画推進委員会が発足して数年。研修会の開催やアンケートの実施、小サークルでの会員からの意見交換を行ってきましたが、今回、今までの活動を踏まえて情報紙を作成しました。みなさんがよりよく働くために、「ちょこっと」耳寄りな情報をお届けしたいと思います

妊産婦理学療法士の健康と安全に配慮するための就業環境の手引き

男女共同参画委員会では働く妊産婦の就業環境に関する手引きを作成しました(2024年5月発行)。「産前版0版」「産後版0版」の2種類あります。妊産婦の状況に合わせて、妊産婦本人、管理職、同僚からの視点で書かれています。妊産婦が職場にいらっしゃる施設の参考に、いらっしゃらない施設でも妊産婦に対する意識の向上や研修などでお役立てください。

兵庫県理学療法士会HPから「各部のお知らせ」→「委員会」→「男女共同参画推進委員会」からダウンロードできます。



～産前版0版～



～産後版0版～



県士会で活躍されている方に、
働き方についてお聞きしました

理学療法士として、父親として

イラスト：栗野直樹先生おこさま

私は、2006年4月より理学療法士として勤務開始しました。それと同時に、日本理学療法士協会、兵庫県理学療法士会に所属しています。勤務開始数か月後、新人教育プログラムが開始となり、同窓生のセラピストと情報交換したり、新しく知り合うセラピストとともにいろいろな研修に参加していきました。数年経過したころ、元上司から県士会活動に参加してみないかと誘いを受け、厚生部として県士会活動を開始。年に数回の会議、研修の裏方業務に参加しました。2012年に結婚し、翌年第1子が生まれ、パパセラピストとしての勤務となりました。そして、勤務先も地元が変わり、現在、育児、家事、学校役員等たくさんの仕事をこなしています。子供が生まれてからは家庭状況を見て、優先度を相談し、研修会、学会への参加を継続していき、新型コロナウイルス流行を機にオンラインでの研修が増えたことで、協会活動、研修会等の参加形態が変化していきました。このことで、より時間が効率よく使えるようになったと思いました。

日々の業務、県士会活動、家庭、趣味等様々な活動を継続するためには、周りの理解・協力がすごく大切になってくると感じています。その為には、自分から周りへの思いやりが重要だと思います。今後も、関わる人々に思いやりと持って接し、業務にあたりたいと思います。

岡本病院 栗野 直樹

